

1 活動名

コロナ禍における病棟生との遠隔授業

2 対象

- ・ 中学部，高等部の病棟生

3 内容と取組の様子

< 中学部 >

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策のため教員が病棟に入れない場合，病棟の入口前で病棟保育士に iPad と iPad を固定するスタンドと Wifi ルーターを受け渡し，担当生徒の前に固定してもらう。
- ・ 生徒1名に10分の授業を行う。
- ・ 季節の行事を扱った学習や本の読み聞かせ等を行う。

< 高等部 >

- ・ 教員が病棟に入れるが登校できない場合，学校と病棟と病棟をつないで交流授業を行っている。
(教員が病棟に入れない場合は中学部と同様)



4 使用したツール(システム・アプリ・ソフト・教材等)

- ・ iPad (FaceTime) ・ ポケット Wifi
- ・ iOAK (iOS アプリ)
- ・ ピアノあそび (iOS アプリ)
- ・ micro:bit (マイコンボード)
- ・ Google workspace の meet (ビデオ通話)

5 おすすめポイント

- ・ 障害が重度で重複している生徒に対し，反応をフィードバックできるよう，画面上の動きを読み取って太鼓をたたくおもちゃ等が作動するようにした。
- ・ 遠隔で iPad が操作できるシステムを構築し，ピアノアプリで演奏できるようにした。
- ・ 遠隔で授業を行うことで，病棟内では取り扱うことが難しい，大きな音の出る活動，粗大な動きのある活動，水遊び，屋外での活動などを疑似的に体験させることができる。
- ・ 病棟から登校できなくても，学校にいる教員や他病棟の生徒の様子を知ったり交流したりすることができる。

6 さらに工夫したいこと

- ・ 遠隔での音楽的な活動や，生徒同士の交流を充実させたい。